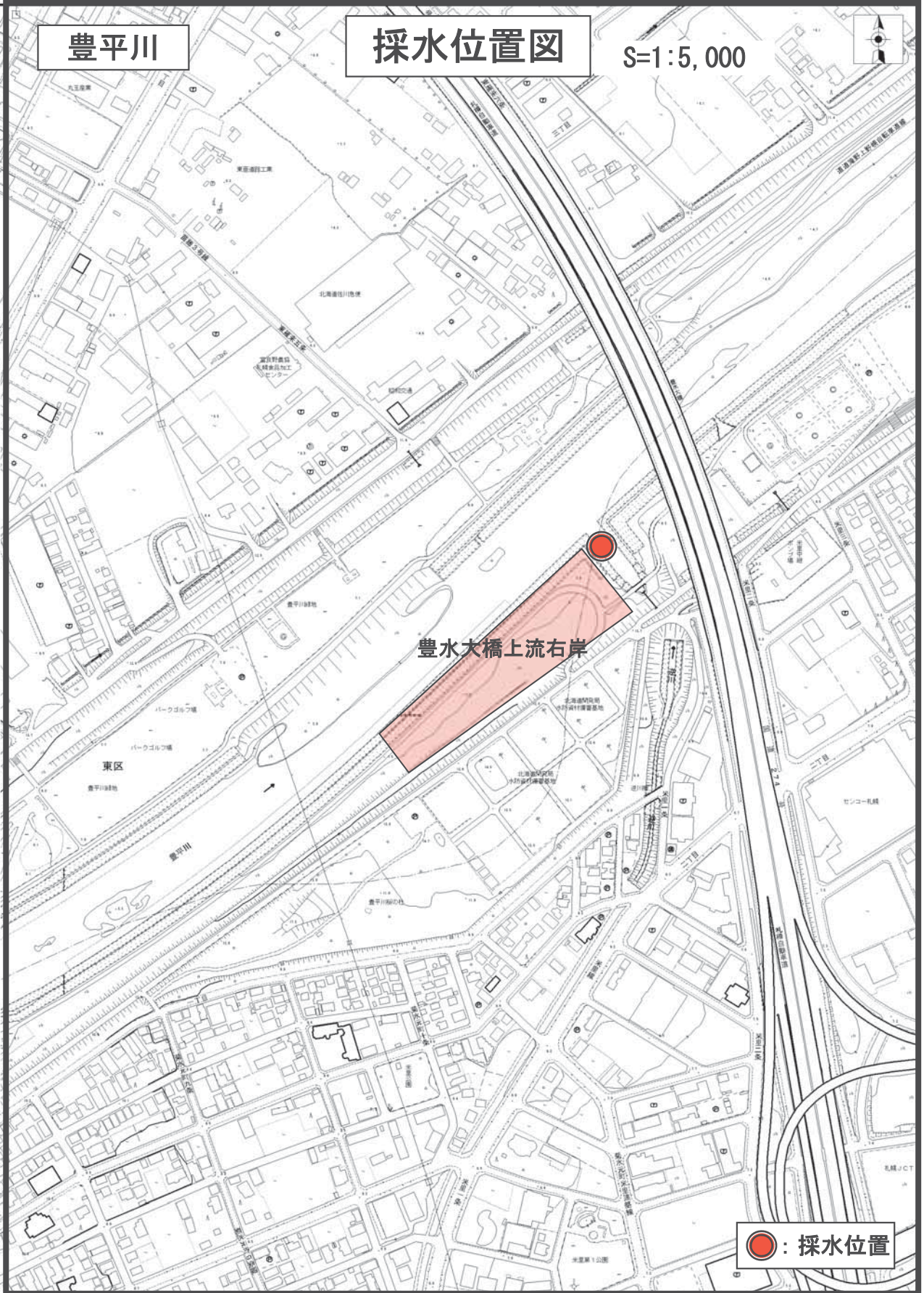


豊平川

採水位置図

S=1:5,000



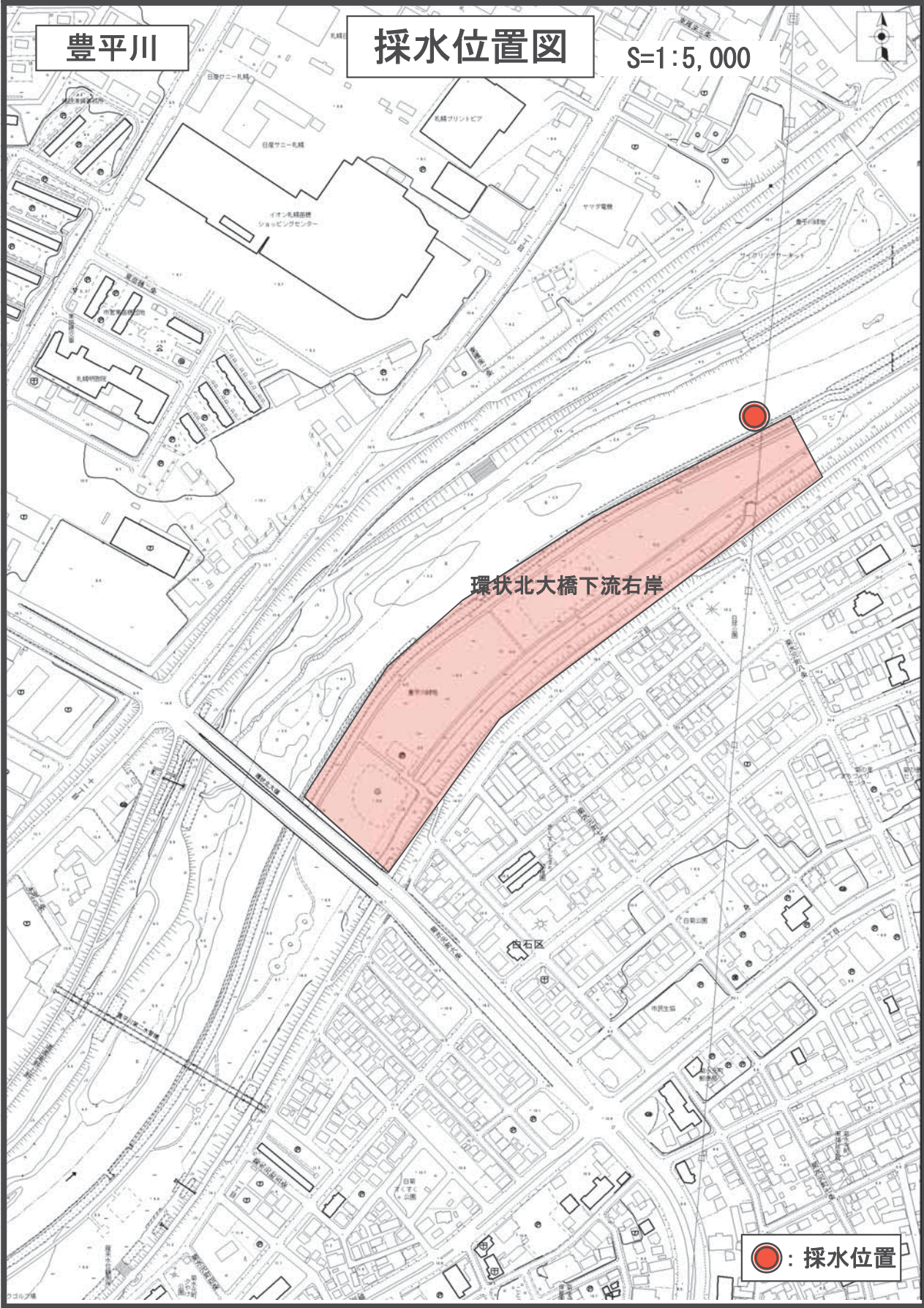
豊水大橋上流右岸

● : 採水位置

豊平川

採水位置図

S=1:5,000



環状北大橋下流右岸

● : 採水位置


豊平川

採水位置図

S=1:5,000



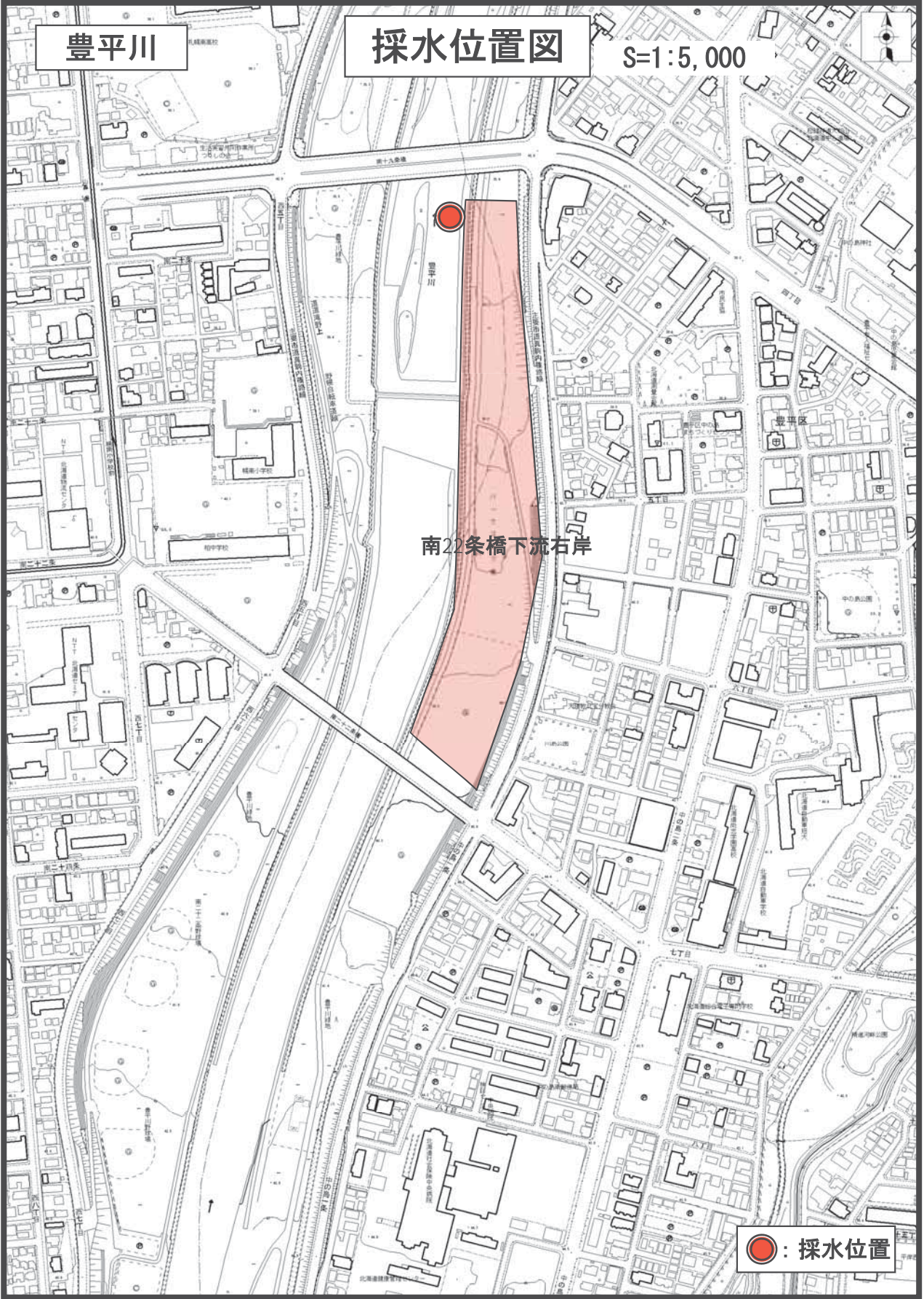
一条大橋下流左岸

 : 採水位置

豊平川

採水位置図

S=1:5,000



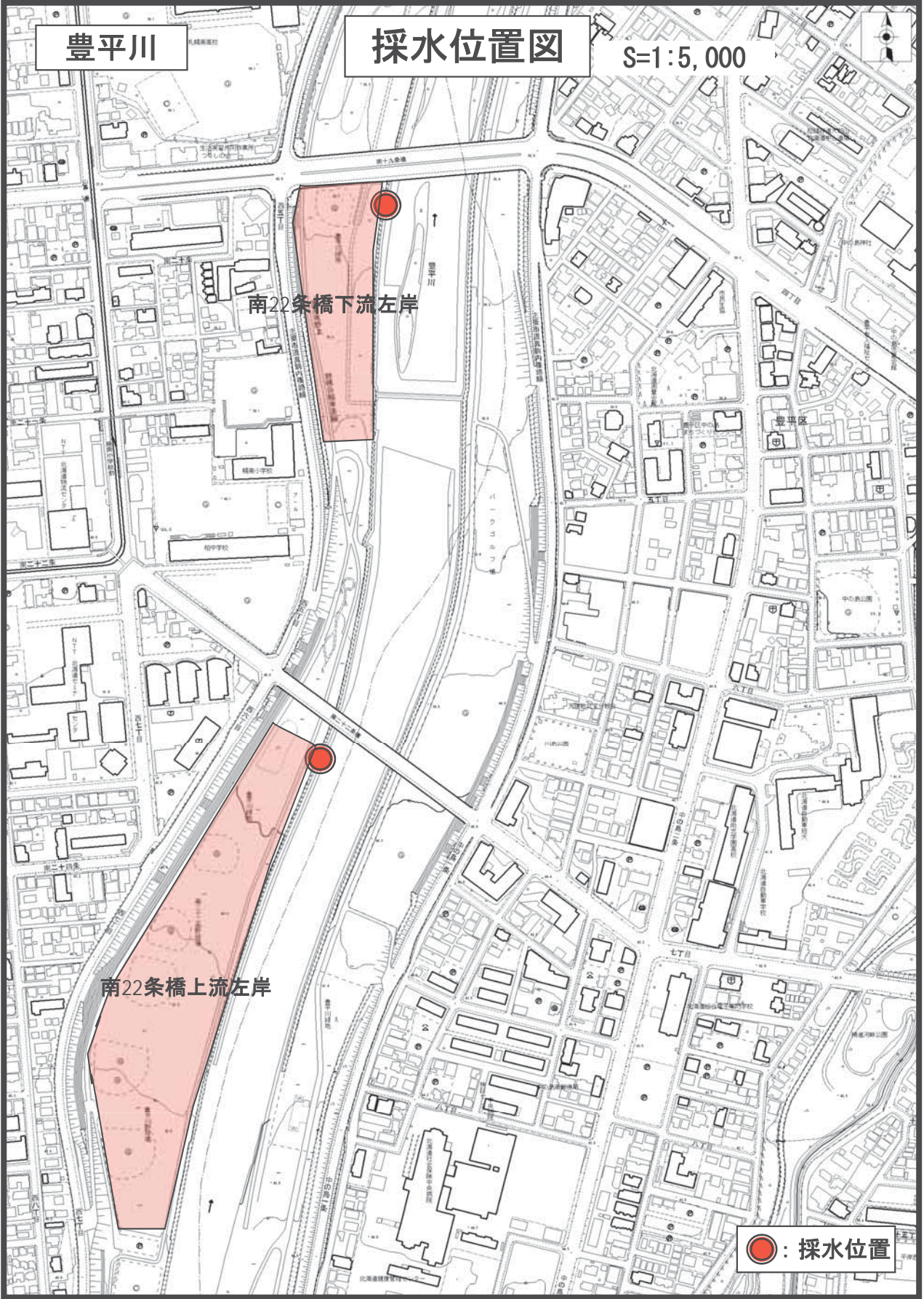
南22条橋下流右岸

● : 採水位置

豊平川

採水位置図

S=1:5,000



南22条橋下流左岸

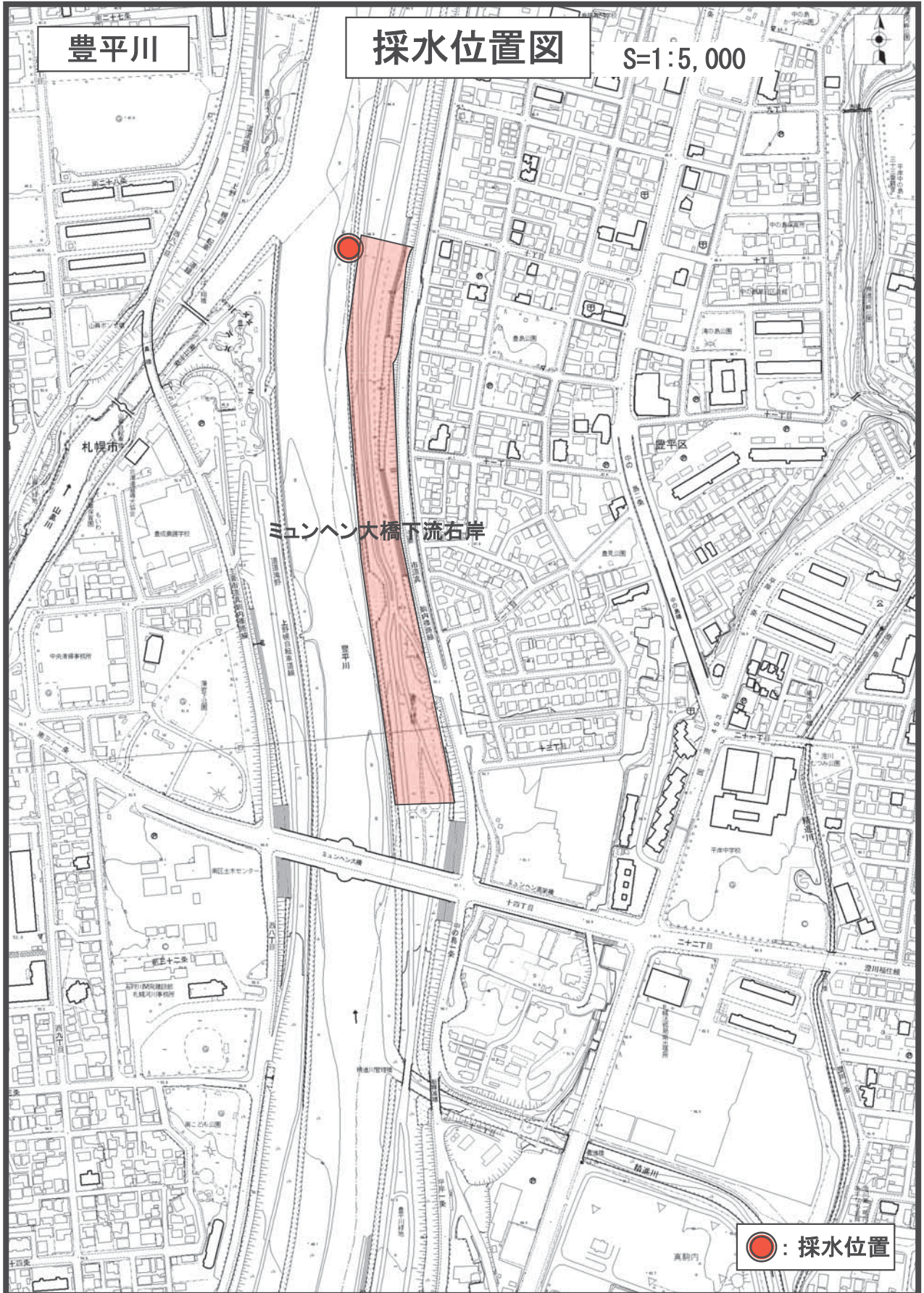
南22条橋上流左岸

● : 採水位置

豊平川

採水位置図

S=1:5,000



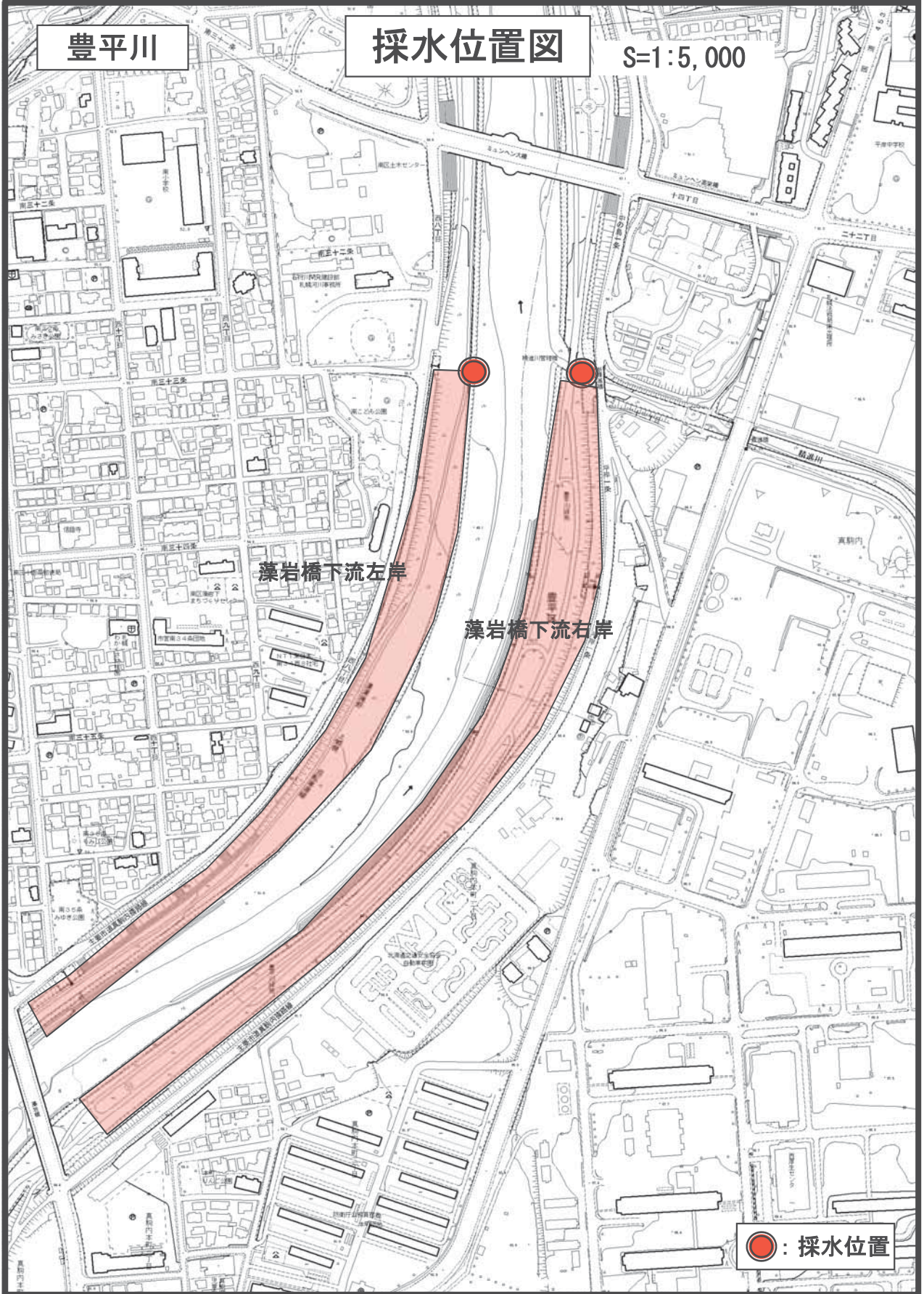
ミュンベン大橋下流右岸

● : 採水位置

豊平川

採水位置図

S=1:5,000



藻岩橋下流左岸

藻岩橋下流右岸

● : 採水位置

公 示 用

令 和 3 年 度 施 行

設 計 書

業務名

石狩川ほか4河川水質調査業務

令和3年 11月設計

札幌市建設局土木部雪対策室

業務名

石狩川ほか4河川水質調査業務

業務委託費

円

一金 内訳

業務価格

円

消費税等相当額

円

業務説明

1. 業務の目的

本業務は、河川敷地内に設けた雪堆積場に搬入される雪の中に含有する不純物が、融雪時および融雪後に河川環境へどのような影響を与えるかを調査するものである。

2. 業務の概要

河川水質 分析試験①	豊平川(道)	6地点	3回採取	計45検体
	厚別川	6地点	3回採取	
	新川	3地点	3回採取	
河川水質 分析試験①	豊平川(道)	1地点	1回採取	計3検体
	厚別川	1地点	1回採取	
	新川	1地点	1回採取	
河川水質 分析試験②	精進川	2地点	2回採取	計4検体
河川水質 分析試験③	石狩川	1地点	1回採取	計14検体
	豊平川(国)	13地点		

3. 履行期間

契約締結日から 令和4年3月31日まで。

4. 仕様書及び分析方法

別紙 仕様書による。

5. 労務費の冬期補正について

本業務では、外業に係る労務費に対して冬期労務費補正を行っている。(補正率4%)

6. 設計変更

分析試験項目及び検体数に変更があった場合、監督員と協議のうえ、設計変更により委託料の増減を行うものとする。

本業務費内訳書

名称	工種	種別	単位	数量	単価	金額	摘要	単価算出調書番号
委託費								
	調査業務	現地調査業務	式	1			第1号内訳書	
	純調査費							
		諸経費	式	1			諸経費算出調書	
		室内試験業務	式	1			第2号内訳書	
	調査業務価格	計						
	解析業務	環境保全対策 検討	式	1			第3号内訳書	
		その他原価	式	1			諸経費算出調書	
		一般管理費等	式	1			諸経費算出調書	
	解析業務価格	計						
業務価格								
		消費税等 相当額	式	1				
業務委託費								

現地調査業務一式内訳書

一金 _____ 円

第1号内訳書

名称	形質	単位	数量	単価	金額	摘要
打合せ	2回 (第1回・成果品納品時)	式	1			単算1
採水作業	流量観測含む 10回/日程度	式	1			単算2
取りまとめ及び考察		式	1			単算3
直接人件費計						
電子成果品 作成費		式	1			単算4
旅費交通費		式	1			単算5
計						

単価算出調書

No. 1

No.	細目	単位	単価	積算の基礎	複合・原単価表
1	打合せ	式		第1回及び成果品納入時の計2回とする。(0.5人/回×2回=1.0人) 測量主任技師 1.0 人 × = 円 測量技師 1.0 人 × = 円 計 円	
2	採水作業	式		河川水質10地点を1日/回、66地点 66地点/10地点≒7日 測量技師補(外業) 1.0 人 × = 円 測量補助員(外業) 2.0 人 × = 円 計 円 7 日 × = 円	
3	現況水質とりまとめ及び考察	式		測量技師 1.0 人 × = 円 測量技師補 1.0 人 × = 円 計 円 ○河川ごとに取りまとめ 5 河川 × = 円	
4	電子成果品作成費	式		電子成果品作成費	円
5	旅費交通費	式		ライトバン運転費(1500CC) ガソリン 7.8 l × = 円 運転時間当り損料 3 h × = 円 共用日当り損料 = 円 計 = 円 7 日 × = 円	
6	河川水質分析試験①	検体		水素イオン濃度(pH) 円 溶存酸素量(DO) 円 生物化学的酸素要求量(BOD) 円 浮遊物質(SS) 円 大腸菌群数(最確数法) 円 n-ヘキサン抽出物質 円 電気伝導率 円 濁度 円 計 円	(建設物価+積算資料)×1/2
7	河川水質分析試験②	検体		水素イオン濃度(pH) 円 溶存酸素量(DO) 円 生物化学的酸素要求量(BOD) 円 化学的酸素要求量(COD) 円 浮遊物質(SS) 円 大腸菌群数(最確数法) 円 全窒素(T-N) 円 全リン(T-P) 円 n-ヘキサン抽出物質 円 電気伝導率 円 濁度 円 計 円	(建設物価+積算資料)×1/2

単価算出調書

No. 2

No.	細目	単位	単価	積算の基礎	複合・原単価表
8	河川水質分析試験③	検体	円	水素イオン濃度(pH) 円 生物化学的酸素要求量(BOD) 円 化学的酸素要求量(COD) 円 浮遊物質(SS) 円 大腸菌群数(最確数法) 円 n-ヘキサン抽出物質 円 電気伝導率 円 濁度 円 計 円	(建設物価+積算資料)×1/2
9	予測及び評価並びに環境保全対策の検討	式		主任技師 0.7 人 × = 円 技師A 1.4 人 × = 円 技師B 2.5 人 × = 円 技師C 2.6 人 × = 円 計 円 5 河川 × = 円	

札幌市

諸経費算出調書

調査業務・諸経費

(対象額が100万円を超え3,000万円以下の場合)

$$Z = A \times Y^b \quad (\text{水質調査諸経費率})$$

Z : 諸経費率(単位:%)

Y : 対象額(単位:円)

A : 変数値

$$A = 285.3$$

b : 変数値

$$b = -0.113$$

直接費計 Y = 円

Z =

(対象額が100万円以下の場合)

$$Z = 59.9\%$$

$$\text{諸経費} = Y \times Z$$

$$= \text{円} \times$$

$$\text{円以内}$$

解析業務・その他原価

$$\text{その他原価} = \text{直接人件費} \times 0.35 / (1 - 0.35)$$

$$= \text{円} \times 0.35 / (1 - 0.35)$$

$$\text{円}$$

解析業務・一般管理費等

$$\text{一般管理費等} = (\text{直接人件費} + \text{その他原価}) \times 0.35 / (1 - 0.35)$$

$$= (\text{円} + \text{円}) \times 0.35 / (1 - 0.35)$$

$$= \text{円} \times 0.35 / (1 - 0.35)$$

$$\text{円以内}$$

札幌市